

平成 29 年度 第 3 回長野市文化芸術振興審議会 会議録（概要）

日 時 平成 30 年 2 月 19 日（月） 午後 3 時から午後 5 時まで

場 所 長野市役所第一庁舎 5 階 会議室 151

出席者 委 員：齊藤委員、松原委員、荒井委員、岩澤委員、金澤委員、北村委員

玉城委員、鶴田委員、中村委員、山岸委員、若山委員

長野市：事務局（文化スポーツ振興部文化芸術課）倉石部長、浅川課長

新井補佐、久保係長、竹内主査

教育委員会事務局文化財課 青木課長

《資料》

資料 1 平成 30 年度 文化芸術振興事業予算（案）の概要

資料 2-1 平成 30 年度 長野市子ども文化芸術賞 募集要項

資料 2-2 長野市子ども文化芸術賞 選考要領

資料 2-3 平成 30 年度 長野市子ども文化芸術賞 候補者一覧

資料 2-4 平成 30 年度 子ども文化芸術賞 候補者選定資料

資料 2-5 長野市子ども文化芸術賞 歴代受賞者一覧

1 開会

2 委嘱書の交付

3 部長挨拶

4 会長挨拶

5 自己紹介

6 議事

(1) 平成 30 年度 文化芸術振興事業予算（案）の概要について

(事務局)

〈資料 1 について説明〉

(会長)

ただいまの説明について、ご質問、ご意見はありますか。

(A 委員)

本件は、審議事項か。

(事務局)

議会の議決事項となるが、審議会には振興計画の策定と進捗管理をお願いしており、計画に基づいて事業を推進するため、ご意見を伺うものである。

(A 委員)

芸術館の運営費が全体に占める割合が非常に高い。運営も大変だと思うが、芸術館は市役所と合築のため、市民には敷居が高く感じる。旧市民会館は別棟であり、行きやすかった。

(B 委員)

非日常的な場所に来ていただくため 2 年間取り組んできた。市民の 3 % は自発的に来るのが一般的である。普段来れない障害を持った人の招待や、小学校や施設への出前も行い、親しみやすい芸術館になるよう取り組んでいる。

(C 委員)

芸術館に対する市民意見は同感である。文化のシンボルと言う一方、一般論として市民の 3 % が来ればよいでは残念である。また、芸術館のチラシに「長野でしか聴けないオーケストラ」とあるが、うれしい反面、本当かと思う。このチラシは誰が、どこの予算から作っているのか。あと、資料に予算 0 円とあるのは、後で補正予算を組むということか。

(事務局)

東部文化ホール自主事業は自前で行っている。中条音楽堂指定管理料はやきもち家と一括で観光振興課で支出、パネルの貸し出しは支出はない。連携中枢都市は自前で情報を集めてホームページで発信するため予算はない。なお、チラシの印刷は芸術館の広報担当が芸術館の予算で行っている。

(C 委員)

今から審議して来年度の予算にどの程度影響を与えるのか。

(事務局)

前回の審議会でも 29 年度予算についてご意見をお聞きした。本日のご意見で予算の増減に影響がでる訳ではないが、今後の事業を進める上で参考とさせていただく。

(D 委員)

芸術館の「水曜日のクラシック」は年々売れ行きが早くなっており、今年は発売当日に半年分のチケットがほぼ完売した。こういった初めて触れる人を呼び込もうとしている努力をもっと平たく言った方がよい。審議会も芸術館を応援して盛り上げていければ良いと思う。

(C 委員)

芸術館が文化の拠点なのは賛成である。ただし、洋楽中心で長野市は地政学上からみて邦楽や童謡もあるのになぜ、取り上げないのか。芸術館が全てではない。前回も申し上げたが飯縄山に文化館を造り、芸術館と文化館があるとほぼ完ぺきになる。是非、ご検討いただきたい。

(会長)

様々な貴重なご意見をいただきましたので、ご検討をお願いします。予算案については、よろしいでしょうか。では、(2)へ議事を進めます。

(2) 平成 30 年度 長野市子ども文化芸術賞受賞候補者の選定について

【非公開】

7 その他

(C 委員)

県歌信濃の国が 50 周年を迎え、県でも動きがあると伺っている。新しい歌詞の募集や以前、学校で教えていた踊りを復活するなど、さらに理解を深める取り組みを市が率先して行ってほしい。審議会としても市長に進言してもよいのではないかな。

また、飯縄山に文化館を建設し、市として邦楽・童謡・和楽器を演奏し、インバウンドも対象に観光面でも行うべき。審議会として一致した意見として市長に申し上げたい。

(事務局)

信濃の国は、市内の小中学校で歌はやっていると思うがどうか。

(E 委員)

小学校は全て行っている。中学校は学校によるが、4 月終わりの吹奏楽の大会で市歌、県歌についても行っている。踊りは知らない子がほとんどである。

(会長)

師範学校時代に伝わった踊りだが、最後は後町小学校で行っていた。

(C 委員)

復活するのもよいし、新たに作るのもよい。

(事務局)

民間グループでダンスとしてやっている。学校での取り組みは教育委員会の所管になるので、ご意見としてお伝えする。

(F 委員)

スポーツが文化芸術の領域に及んでおり、都市の造形に大きな影響を持ち始めている。またツーリズムに共通する部分もあり、都市のブランディングに影響を与える領域に達している。長野市もスポーツを文化として捉え、さらなる醸成を図る時期にきている。

(C 委員)

松井須磨子が没後 100 年となる。長野市としても取り上げるべきではないかな。

(事務局)

昨年から関係者で企画を検討中と聞いている。観光振興課が窓口で市としての支援を検討している。

今回は 7 月下旬に予定をしています。引き続きよろしくお願いします。本日はありがとうございました。

9 閉会